

「コミュニティ再生ケア学」と
「地域産業イノベーション学」が
統合しました!

全学副専攻プログラム

ローカル・ イノベーション学

手引き2020

地域の“未来”づくりのため、
課題発見・解決力、実践力、コミュニケーション力を鍛える

ローカル・イノベーション学

「ローカル・イノベーション学」は、学生の皆さんの主専攻である各学部での専門性を持ちながら、地域産業・イノベーションや地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を身に付ける全学副専攻プログラムです。ゆくゆくは、学生の皆さんが、NPOや大学、自治体、企業などの立場から地域産業をイノベーションしたり、地域再生のために活躍できる人材となることを目指しています。

● 修了証書／履修証明書

ローカル・イノベーション学 を学んだ証明

「ローカル・イノベーション学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学副専攻プログラムです。普遍教育科目では、地域科目、国際科目、教養展開科目の中に、このプログラムを構成する科目が指定されています。取得要件で定められている単位に応じて、「修了証書」または「履修証明書」を発行します。ローカル・イノベーション学に興味はあるけど、30単位を取得するのが難しいという方は、ローカル・イノベーション学の指定科目を一定以上履修したことを証明する「履修証明書」の取得を目指しても良いでしょう。

修了証書

30単位

履修証明書

23単位

普遍教育と専門教育を横断する全学副専攻プログラムにより、
課題発見力、課題解決力、実践力、コミュニケーション力を築きます。

普遍教育科目

講義型 (必修)

地域科目 (基礎)

講義・体験型

地域科目 (基礎)
地域科目 (展開)
国際科目 (展開)
教養展開科目

PBL・実習型

地域科目 (展開)
教養展開科目

地域づくり、地域産業、イノベーションの基礎・理論、地域と地域再生の基礎・理論、スキル、体験を学ぶ



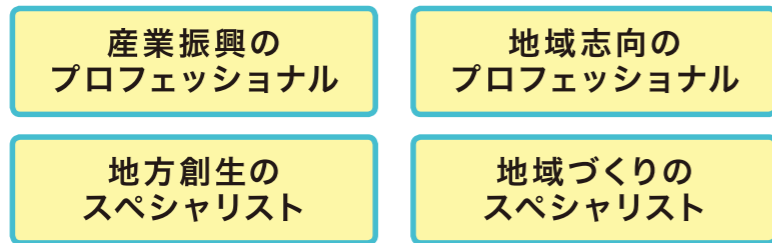
専門教育科目

所属学部・他学部の指定する専門教育科目
すべての学生が履修できる全学共通科目があります

目次

ローカル・イノベーション学	2
修了証書／履修証明書の取得要件	4
履修方法 (履修開始から修了証書／履修証明書取得までの流れ)	5
普遍教育科目 2020 指定科目	
講義型	6
講義・体験型	7
PBL・実習型	10
専門教育科目 2020 指定科目	13
放送大学指定科目／敬愛大学「エアポート NARITA 地域産業学」	15
履修方法・学び方	16
Q&A	17
オフィス案内 (アクセス)	18

わたしたちが目指すのは、地域の未来づくり

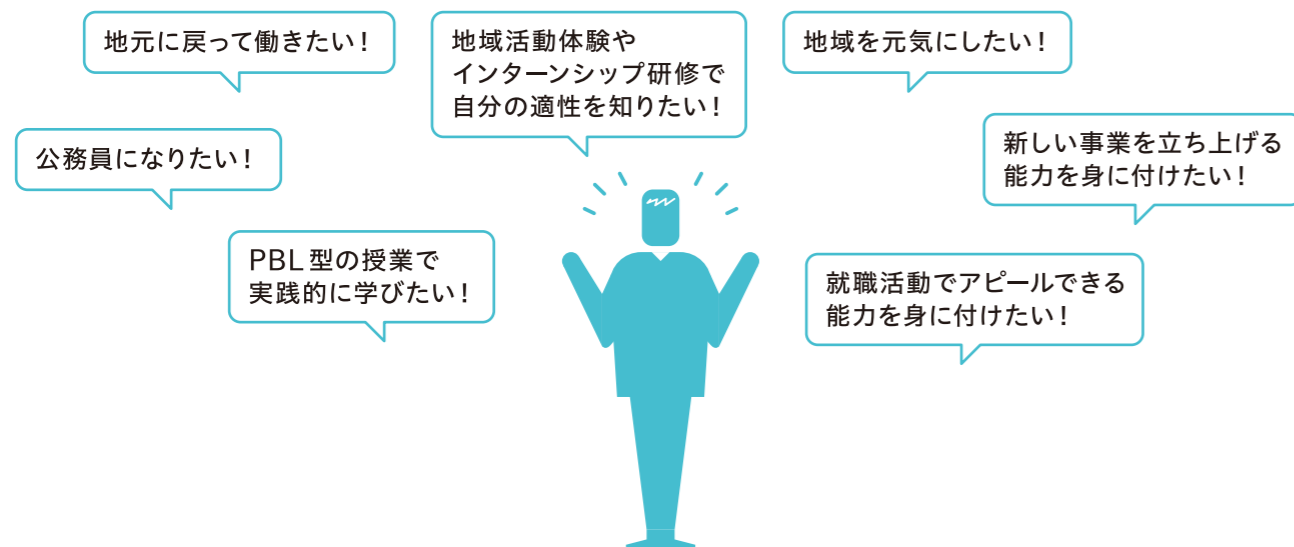


職業イメージ(例)

公務員	地域と向き合う地方公共団体の産業振興部門	まちづくり会社/NPO	まちづくり・地域づくりの組織で活躍する
6次産業化プランナー	産業のニーズに応じたアドバイスやビジネス提案	エンジニア	エンジニアリングの技術を地域活性で生かす
地域企業	地域で活躍する企業を活性化	医療・福祉従事者	地域医療、介護、看護で安心・安全を
ベンチャー起業	6次産業や新観光等を自ら創業し雇用を創出	教員	子どもの頃から地域に関する関心をもたせる
シンクタンク	地域再生や地方創生の政策提言	企業人	大手企業もCSRで地域に関わるCSR: Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)
コンサルタント	産業イノベーションの企画や計画	地域・都市づくり	サステイナブルな都市づくりを進める
研究者	理論系、政策系、現場研究系で後押し	CB/SB起業	地域課題を解決する非営利組織を自ら起業 CB: Community Business SB: Social Business

ほしい未来を自分でつくる!

ローカル・イノベーション学はこんな人におすすめ



● 修了証書/履修証明書の取得要件

修了証書/履修証明書の取得要件は、各学部の卒業要件として取得しなければならない単位数とは異なります。以下の取得要件表に定められた科目区分に属する科目を、取得要件に応じて必要単位を取得することが必要です。

※入学年度によって取得要件が異なりますので注意してください。
 ※2019年度以前入学者については「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」での種別名について「ローカル・イノベーション学」の種別名に読み替えを行い、所定の取得要件に応じて取得してください。
 ※入学年度が2015年以前の学生は、必修「地域と暮らし」の1単位を除く単位の取得が必要です。

科目種別	2020年度入学者		2019年度以前入学者		備考			
	修了証書	履修証明書	修了証書	履修証明書				
必修 講義型	地域と暮らし(必修)	1	1	1	1	地域・コミュニティに関する必修科目です。地域科目(基礎)に該当する科目があります。		
	ホリスティック地域学入門	1	1	—	—	地域に関するeラーニング形式授業科目です。地域科目(展開)です。		
	講義・体験型	地域づくりの基礎	2~10	2~10	6~14	4~10	地域づくりに関する基礎的な科目です。地域科目(基礎)、地域科目(展開)、教養展開科目に該当する科目があります。	
		地域に関する多様なテーマ	2~6	2~4	—	2~4	地域・コミュニティに関する多様な科目です。地域科目(基礎)、地域科目(展開)、教養展開科目に該当する科目があります。	
		地域とイノベーション	4~10	2~4	4~10	—	地域やイノベーションに関する基礎的な科目です。地域科目(展開)、国際科目(展開)、教養展開科目に該当する科目があります。	
	選択	地域イノベーションのためのスキル	2~4	2~4	2~6	2~4	地域づくりや産業イノベーションに資するスキル取得のための科目です。教養展開科目に該当する科目があります。	
		PBL・実習型	プロジェクト実習	4~8	2~6	4~8	2~6	地域、産業イノベーションに関するPBL、実習型の科目です。地域科目(展開)、教養展開科目があります。
			カレッジリンク					
	地域活動体験							
	インターンシップ							
専門教育科目	地域に関する専門科目	2~10	2~10	2~10	6	各学部の専門科目に該当する科目があります。		
取得要件		計30単位	計23単位	計30単位	計23単位			

新旧プログラム種別名対応表(2019年度以前入学者対象)

2019年度以前入学者で、未取得の単位がある場合は、以下の対応表から履修してください。

	旧プログラム	新プログラム	旧プログラム
	地域産業イノベーション学	ローカル・イノベーション学	コミュニティ再生ケア学
講義型	地域と暮らし(必修)	地域と暮らし(必修)	地域と暮らし(必修)
		ホリスティック地域学入門	
講義・体験型	地域づくりを学ぶ	地域づくりの基礎	地域(再生)の基礎を学ぶ
	千葉を知る		
	—	地域に関する多様なテーマ	地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ
	産業イノベーションを考える	地域とイノベーション	—
PBL・実習型	スキルを学ぶ	地域イノベーションのためのスキル	地域(再生)に資するスキルを学ぶ
	PBL(プロジェクト・ベースト・ラーニング)	プロジェクト実習	PBL(プロジェクト・ベースト・ラーニング)
	カレッジリンク・プログラム	カレッジリンク	カレッジリンク・プログラム
	地域活動体験	地域活動体験	地域活動体験
専門教育科目	地域産業イノベーションに関する専門内容	地域に関する専門科目	地域(再生)に関する専門内容

普遍教育科目 2020 指定科目

掲載内容に変更が生じる場合もありますので、「Guidance 2020」および掲示板等で適宜ご確認ください。
「未定」となっている箇所の最新情報は、掲示板にてご確認ください。

講義型

● 地域と暮らし(必修) 2020年度1年次生対象

地域とは何か、地域の中にはどのような課題や問題があるか、どのような解決事例があるかなど、自らが社会の一員として、地域の様々な課題を知り、具体的な解決方法を学びます。

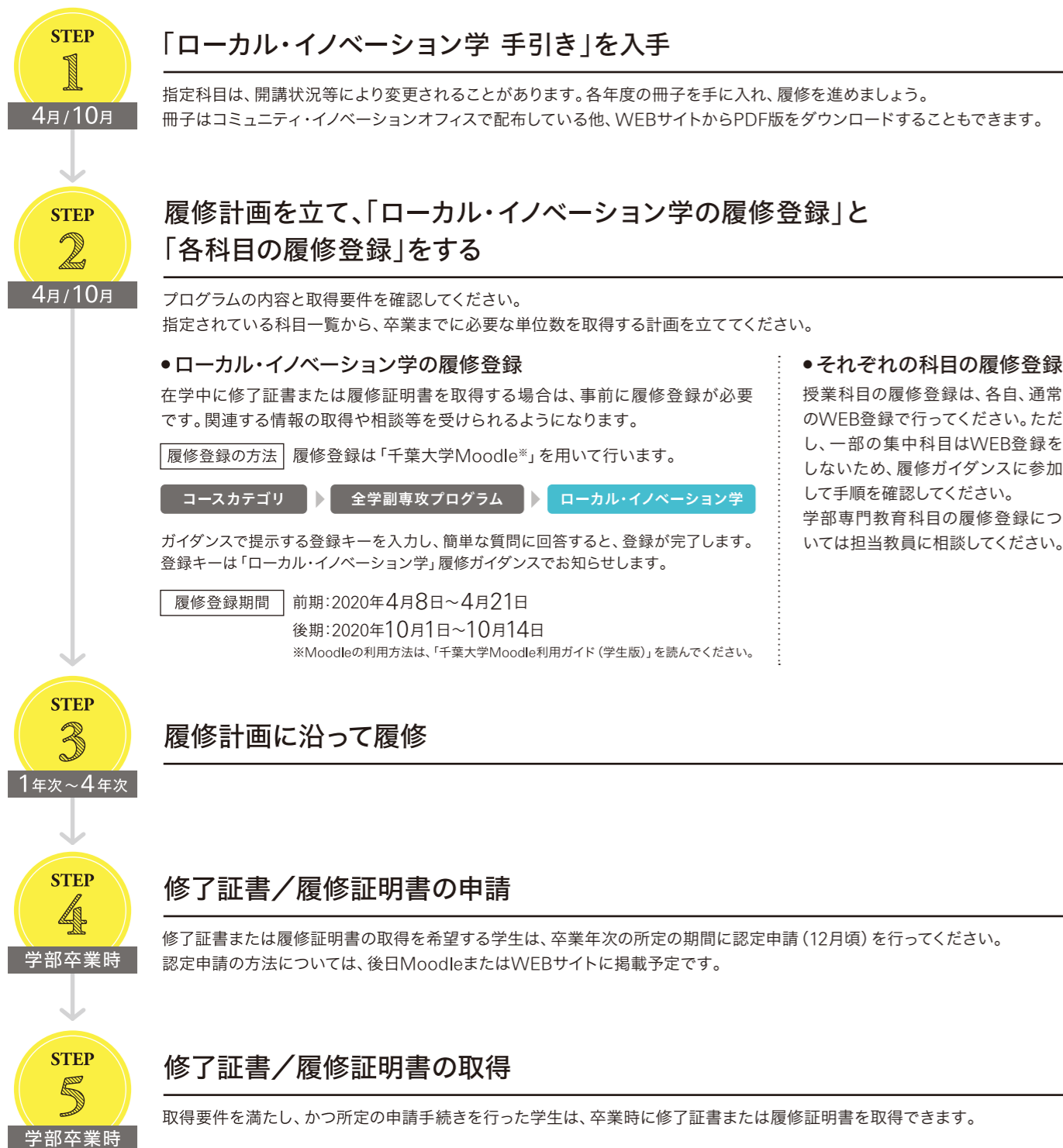
授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
団地再生まちづくり	1	T1	木4	国	鈴木 雅之	1LHP
地域の地学的背景を知る	1	T2	木4	理	宮内 崇裕	1ZE小(算理心も)中養T化・環M
健康都市・空間デザイン論	1	T1	木4	予	花里 真道	1LHP
エコまちづくり	1	T1	木1	工	田島 翔太	1BT機・物
大学と地域の共創まちづくり	1	T2	木1	国	鈴木 雅之	1T電・情,建・テN
地域振興とデザイン	1	T1	木4	工	植田 憲	1LHP
地域とNPOの社会学	1	T2	木1	人	清水 洋行	1T電・情,建・テN
地域づくりとアートマインド	1	T2	木1	教	神野 真吾	1T電・情,建・テN
地域に住まう	1	T2	木1	工	豊川 齋赫	1T電・情,建・テN
チームで取り組む地域活動入門	1	T2	木4	病	竹内 公一	1ZE小(算理心も)中養T化・環M
地域づくりと地方の再生	1	T2	木4	国	和田 健	1ZE小(算理心も)中養T化・環M
地方の地域づくり	1	T2	木4	工	松浦 健治郎	1ZE小(算理心も)中養T化・環M
市民参加・協働のまちづくり	1	T1	木1	社	関谷 昇	1BT機・物
学校・大学と地域社会	1	T2	火4	国	白川 優治	1E小(国社教)専英特幼S
都市環境の生態系デザイン	1	T1	木1	国	永瀬 彩子	1BT機・物
地域課題対応ワークショップ	1	T2	火4	未	岡山 咲子	1E小(国社教)専英特幼S
超高齢社会と対策	1	T1	木1	予	藤田 伸輔	1BT機・物

● ホリスティック地域学入門

地域に関わる様々な先生方がポイントをしばって学習内容を提供する「eラーニング形式」の授業です。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
ホリスティック地域学入門	1	T1	集中	国	鈴木 雅之	

● 履修方法(履修開始から修了証書/履修証明書取得までの流れ)



最新情報は
WEBサイトで
確認してください。
<https://cocp.chiba-u.jp/education/index.html>

注記.....
○履修科目登録単位数の上限設定及び早期卒業を実施している学部がありますので、詳細は所属学部で確認してください。

講義・体験型

● 地域づくりの基礎

地域・コミュニティに関する基礎的な科目です。地域とは何か、地域にはどのような課題や問題があるか、どのような解決事例があるかなどを学びます。自らが地域の課題を解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
地域を共につくる	1	T1	火2	工	佐藤 公信	
共生環境のまちづくり1	1	T1	水4	工	樋口 孝之	
共生環境のまちづくり2	1	T2	水4	工	樋口 孝之	
世界遺産のまちから学ぶ～佐原の大祭とまちづくり(千葉県香取市)～	1	T2	水2	社	関谷 昇	
千葉の地域を知る	1	T4	木2	国	鈴木 雅之	
地方創生を語る	1	T5	木2	国	鈴木 雅之	
ひととみどりをつなぐ	2	T1-6	集中	園	三島 孔明	松戸開講
ソーシャルラーニングI	1	T1-6	集中	教	下永田 修二	
地域で仕事をおこす・入門篇	1	T2	火3	国	崎山 直樹	
人口減少と地域づくり	1	T2	火4	教	梅田 克樹	1E小(国社教)専英特幼S
観光を考える	1	T4	水2	工	植田 憲	

※旧プログラム地域産業イノベーション学の「地域づくりを学ぶ」/「千葉を知る」が該当します。
旧プログラムコミュニティ再生ケア学の「地域(再生)の基礎を学ぶ」が該当します。

● 地域に関する多様なテーマ

地域・コミュニティの課題や解決方法は様々あります。それを具体的に学び、自らが地域の課題を解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
アートコミュニケーション	2	T1-6	集中	教	神野 真吾	
アートをつくるI	2	T1-2	水2	教	加藤 修	
アートをつくるII	2	T4-5	集中	教	加藤 修	
アートをつくるIII	2	T1-2	集中	教	加藤 修	アートをつくるII履修者
アートをつくるIV	2	T4-5	集中	教	加藤 修	アートをつくるII履修者
伝統文化をつくるA	2	T1-2	月4	人	兼岡 理恵	
伝統文化をつくるB	2	T4-5	月4	人	兼岡 理恵	
伝統文化をつくるC	2	T1-6	集中	人	兼岡 理恵	A、Bを履修した学生
伝統文化をつくるD	2	T1-6	集中	人	兼岡 理恵	A、B、Cを履修した学生
カフェをつくるI	2	T1-2	月3	*	西田 直海	

次ページに続く

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
カフェをつくるII	2	T4-5	月3	*	西田 直海	
スポーツ・マネジメント	1	T2	火3	教	下永田 修二	
地域の中のキャンパスづくり	1	T5	未定	未定	未定	
環境をデザインする	1	T1	水2	工	佐藤 公信	
生きるを考える1	1	T4	火3	看	眞嶋 朋子	
生きるを考える2	1	T5	火3	看	眞嶋 朋子	
非営利市民事業と協同組合A	1	T1	金3	国	崎山 直樹	
非営利市民事業と協同組合B	1	T2	金3	国	崎山 直樹	
緑と食の環境問題	2	T4-5	水5	園	小林 達明	松戸開講：遠隔授業
現代医学	2	T1	金4/金3	医	小林 欣夫	1年次生のみ
菓子茶から地域をひもとく	1	T2	火4	人	兼岡 理恵	1E小(国社教)専英特幼S
住環境と主体	1	T1	木4	工	森永 良丙	1LHP
畑から食卓へ	2	T1-6	集中	柏	野田 勝二	

※旧プログラムコミュニティ再生ケア学の「地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ」が該当します。

● 地域とイノベーション

地域産業とは何か、地域産業にはどのような課題や問題があるか、イノベーションによってどのような解決事例があるかなどを学びます。自らが地域産業の課題を解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
世界の中の日本、日本の中の世界	1	T5	月2	国	崎山 直樹	
日本人の国際倫理	1	T2	月3	国	崎山 直樹	
地域ベンチャー起業論	1	T1	火4	工	田島 翔太	
インクルーシブ・ビジネス入門	1	T3	集中	国	永瀬 彩子	海外協定校の学生とのワークショップ形式
地方創生時代の地域イノベーション	1	T5	火4	国	鈴木 雅之	
科学技術の発達と生命倫理A	1	T1	水5	予	藤田 伸輔	
科学技術の発達と生命倫理B	1	T2	水5	予	藤田 伸輔	
製品デザイン論	2	T4-5	木2	工	UEDA EDILSON SHINDI	
バイオエナジー入門	1	T6	集中	国	永瀬 彩子	海外協定校の学生とのワークショップ形式
実務家によるキャリア・デザイン入門A	1	T1	金4	社	小川 真実	
実務家によるキャリア・デザイン入門B	1	T4	金4	社	小川 真実	
フード・システム・サービス・デザイン入門	1	T6	集中	国	永瀬 彩子	海外協定校の学生とのワークショップ形式

次ページに続く

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
地方創生の実務現場B	1	T5	金4	社	小川 真実	
地方創生の実務実習	2	T3	集中	社	小川 真実	1年次生～3年次生まで
実務家によるキャリア・デザイン演習B	1	T6	集中	社	小川 真実	
ソーシャルビジネスを考える	1	T2	火4	工	田島 翔太	

※旧プログラム地域産業イノベーション学の「産業イノベーションを考える」が該当します。

● 地域イノベーションのためのスキル

地域産業・地域・コミュニティの課題や問題を解決するために修得しておいた方がよいスキルがあります。在学中に学ぶことで、社会に出て活躍するまでの期間を短縮できます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
芸術学A	1	T1	水3	教	神野 真吾	
芸術学B	1	T2	水3	教	神野 真吾	
経済学C1	1	T1	水4	園	小林 弘明	松戸開講・B以外
経済学C2	1	T2	水4	園	小林 弘明	松戸開講・B以外
経済学D1	1	T1	月5	*	落合 勝昭	B以外
経済学D2	1	T2	月5	*	落合 勝昭	B以外
実務家による金融基礎知識	2	T1-2	火3	社	大鋸 崇	寄付講義
会計学B1	1	T4	火3	社	善積 康夫	B以外
会計学B2	1	T5	火3	社	善積 康夫	B以外
デザイン・シンキング入門	1	T3	集中	千	渡邊 誠	海外協定校の学生とのワークショップ形式
対人コミュニケーション演習1	1	T1	木2	*	堂山 智子	1年次生対象
対人コミュニケーション演習2	1	T2	木2	*	堂山 智子	1年次生対象
文章表現演習I	1	T1	木3	国	佐藤 尚子	1年次生対象
文章表現演習II	1	T2	木3	国	佐藤 尚子	1年次生対象
文献との対話	1	T4	月2	人	竹内 比呂也	
大学生のためのライティング基礎	1	T1	水5	人	石井 正人	1年次生対象
大学生のためのプレゼンテーション基礎	1	T2	水5	人	石井 正人	1年次生対象

※旧プログラム地域産業イノベーション学の「スキルを学ぶ」が該当します。
旧プログラムコミュニティ再生ケア学の「地域(再生)に資するスキルを学ぶ」が該当します。

● PBL・実習型

● プロジェクト実習

地域や産業に関わる実践型の科目です。具体的なプロジェクトを通して、それぞれの課題や問題に取り組みます。活動のテーマやプロジェクトの企画について、学生の皆さんが自ら提案し、事業計画、活動計画を立てて実践します。一連の授業を通して、地域再生、地域産業にイノベーションを興す専門人材として何ができるかを学習します。なお、履修については、講義型科目を通じて地域づくりや地域産業について基礎的な知識を身に付けた2年次以降を推奨しています。これを「グラデーション定着学習」(▶P11)と呼んでいます。



授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
文化をつくる	2	T1-6	集中	教	神野 真吾	
コミュニティにおけるスポーツ・イベント運営の実践	2	T1-6	集中	国	小泉 佳右	
ローカル・プロジェクト実習A	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之	
ローカル・プロジェクト実習B	2	T1-6	集中	工	田島 翔太	
台湾ローカルPBL	3	T1-6	集中	国	鈴木 雅之	台湾協定校の学生とのワークショップ形式
千葉台湾ローカルPBL	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之	台湾協定校の学生とのワークショップ形式

グラデーション定着学習

「グラデーション定着学習」とは、学生の皆さんが地域に徐々に定着し活躍するように、年次(ステップ)ごとに地域と関わっていく濃度を変える仕組みです。例えば、以下のようなステップが考えられます。

STEP 1 1年次	地域づくりや地域再生に関する講義(座学)を履修し、基礎的な知識を身に付けます。
STEP 2 2年次	地域での1~2日の体験学習やワークショップに参加し、短期間のPBL型学習に取り組みます。
STEP 3 3年次	夏季休暇や空いているタームを使って、地方公共団体、NPO、地元企業などでの研修やプロジェクト実習に参加し、地域をより深く学びます。
STEP 4 4年次	これまで得た経験や知識をもとに、自ら地域で具体的な取り組みにチャレンジします(チャレンジワーク)。

● 科目紹介

ローカル・プロジェクト実習A

千葉の地域にある独自の課題解決など、地域づくり、まちづくり、産業振興に直結するプロジェクトを企画、実践していきます。プロジェクトに自ら主体的に関わることで、地域再生のあり方を体験的に学習します。

スポーツにおけるスポーツ・イベント運営の実践

地域社会が持つニーズ(コミュニティが抱える問題の解決や志向性)に対して、スポーツを通して果たすために、スポーツイベントを企画・運営します。企画・運営作業を通して、スポーツの文化性及び地域社会のあり方について考えるとともに、イベントプロデュース力を養います。スポーツの社会的及び文化的価値を学習し、スポーツが現代社会の問題を解決するための意義や方法論を探ることができます。地域社会が持つニーズを把握し解決に向かい、それに対してより深い知識で対応できる力を養います。

文化をつくる

前半は、アーティストやクリエイターによる複数のワークショップに参加し、アートの視点やクリエイティブな協働のあり方について体験的に学びます。その後は千葉市美術館やアーティストと連携しながら、地域の中で様々な活動を展開していきます。

● カレッジリンク

カレッジリンクとは、大学(カレッジ)と地域社会が組織的に連携(リンク)し、年齢に関わらず地域の誰もが大学とともに学びあう機会を創出する学習プログラムです。この科目では、市民と学生と一緒に受講し、地域の課題や問題を自分たちで考えるだけでなく、他人とディスカッションすることで客観的かつ俯瞰的のものごとを捉える能力を身に付けます。※詳しくは4月実施のガイダンスで説明します。日時は18ページで確認してください。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
カレッジリンク@千葉	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之	
カレッジリンク@ローカル	2	T1-6	集中	工	田島 翔太	

● 科目紹介

カレッジリンク@千葉

授業は、学生と市民とが月1回、講義とグループワークを通して、地域づくりに自ら働きかけ、行動する基礎力を養っています。過年度には、日常や地域をそれまでとは異なるクリエイティブな視点から捉えられるようになるためのプログラムを実施しました。講師として、芸術学や心理学を専門とする教員のほか、料理や音楽に関わるデザイナーやアーティストの方々をゲストとして招き、身近な物事に対する新しい眼差しや発想を体験的に楽しみながら学びました。



カレッジリンク@ローカル

千葉の地方圏を対象とした合宿型の授業です。地方を訪れて、地域のポテンシャルを見つけ、課題解決のための企画を地域住民と一緒に学び、提案します。これまで横芝光町と長柄町で実施し、地方創生ゲームの考案や、地域のブランディングを学びました。

● 地域活動体験/インターンシップ/グローバルボランティア

地域活動体験やインターンシップ研修を通して、体験的に地域社会の課題やニーズを知り、取り組みの意味を理解します。また、活動体験を通じて、地域に対する自分の可能性を発見します。※詳しくは4月実施のガイダンスで説明します。日時は18ページで確認してください。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等
地域活動体験1	1	T1-6	集中	工	田島 翔太	
地域活動体験2	1	T1-6	集中	工	田島 翔太	
グローバルボランティア事前学習(1)	1	T2	木6	国	佐々木 綾子	
グローバルボランティア事前学習(2)	1	T2	金5	国	佐々木 綾子	
グローバルボランティア(地域)	2	T1-6	集中	工	田島 翔太	
地域志向型インターンシップA	2	T1-6	集中	工	田島 翔太	
地域志向型インターンシップB	2	T1-6	集中	工	田島 翔太	

● 科目紹介

地域活動体験1・2

地域づくりに携わるNPO等にボランティアとして参画し、地域活動や市民団体の役割とその実践について学びます。そして、地域づくりのためにできることや、地域づくりの担い手に必要なことを具体的に掘り下げ、理解を深めます。地域活動を体験することで、地域づくりについての理解を深め、その後の勉強への取り組み方を発見します。単位取得にはNPO等で25時間以上のボランティア活動が求められます。また、事前学習、中間報告、事後学習への参加が義務付けられます。派遣先の候補として、地域で都市生活者向けに農業体験を実施している団体や、移住・定住に取り組む団体等があります。



グローバルボランティア(地域)

派遣先のうち、特に国際交流に関連する団体で活動します。授業内容は「地域活動体験1・2」と同じですが、「グローバルボランティア事前学習」の履修が必須となります。詳しくはガイダンスで説明します。

▶ 2020年度コースの詳細な内容はガイダンスまたはWEBサイトで確認してください。

専門教育科目 2020 指定科目

各学部の専門科目にローカル・イノベーション学の指定科目が置かれています。

各学部がそれぞれのプログラムの趣旨に合う科目を指定しています。全学共通科目では、他学部の学生も履修することができます。

地域に関する専門科目

専門教育の指定科目には、すべての学生が履修できる全学共通科目と、所属学部の学生のみが履修できる所属学部生限定科目があります。科目ごとに履修条件等が異なりますので、履修の際は注意してください。

● 全学共通科目

すべての学部の学生が履修できる科目です。ただし、受け入れ人数など条件がある場合があるので、各学部のシラバスなどを確認し、必要に応じて担当教員に相談してください。

文学部

授業科目	担当教員
現代社会で働くことa	米村 千代・他
社会学基礎	専修全教員
家族社会学a	米村 千代
人文科学の課題：地域を知るa1	檜皮 瑞樹・他
人文科学の課題：地域を知るa2	檜皮 瑞樹・他
アイヌ語a	中川 裕
アイヌ語b	中川 裕
人文科学の課題：世界を知るa1	兼岡 理恵・他
人文科学の課題：世界を知るa2	大原 祐治・他

法政経学部

授業科目	担当教員
産業組織論Ⅰ	岸本 信
産業組織論Ⅱ	岸本 信

教育学部

授業科目	担当教員
衛生学及び公衆衛生学	高橋 浩之
ディベート教育論	藤川 大祐・他
ライフコースと生活福祉	未定
現代社会と家族	未定
人文地理学概論	梅田 克樹
地誌学概論	梅田 克樹
キャリア教育演習	藤川 大祐
横断型授業づくり入門	藤川 大祐

理学部

授業科目	担当教員
堆積学実験Ⅰ	伊藤 慎
地殻構造学野外実験Ⅰ	金川 久一・他
堆積学実験Ⅱ	伊藤 慎
地形学Ⅱ	宮内 崇裕

工学部

授業科目	担当教員
都市環境プロデュース	郭 東潤
都市居住計画	森永 良丙
都市開発	村木 美貴
建築計画Ⅰ	小林 秀樹
国土・交通計画	丸山 喜久
環境ビジネス	木村 諭史
都市空間計画	丁 志映
建築計画Ⅱ	大川 信行
デザイン文化論	植田 憲
デザイン文化計画演習	植田 憲
地域環境計画	梅本 舞子

園芸学部

授業科目	担当教員
GIS利用論	加藤 顕
環境ガバナンス論	秋田 典子
都市計画学	齋藤 雪彦
都市緑地学	池邊 このみ
都市緑地計画学	池邊 このみ
公園デザイン学	木下 剛
バイオエンジニアリング	彦坂 晶子
ポストハーベスト工学	椎名 武夫
農産食品工学	小川 幸春・他
食品衛生学	江頭 祐嘉合・他
食品製造実習	園田 雅俊
園芸療法論	岩崎 寛
環境健康学実習Ⅰ	三島 孔明・他
環境健康学実習Ⅱ	三島 孔明・他
風景計画学	古谷 勝則・他
フードシステム学	櫻井 清一
食品産業組織論	石田 貴士
比較農業環境論	高垣 美智子
地域再生計画学	齋藤 雪彦・秋田 典子
緑地福祉学	岩崎 寛

薬学部

授業科目	担当教員
薬剤師と地域医療	佐藤 信範・他

● 所属学部生限定科目

所属学部の学生のみが履修できる科目です。

国際教養学部

授業科目	担当教員
総合科学コミュニケーション演習	三野 弘文・他
国際教養学入門	小澤 弘明・他
現代日本課題演習	和田 健・他
生命科学基礎	山口 智志
自然科学基礎	串田 正人・他
人文社会科学基礎	泉 利明
現代日本論	見城 悌治
プレゼンテーションメソッド	吉野 文
経済政策と科学技術	神里 達博
サイエンスコミュニケーション論	未定
地方創生論	鈴木 雅之
クールジャパン論	池田 忍・他
工業デザイン	Paskevicius Algirdas
都市住環境論	未定
質的調査法ⅡA	福田 友子
量的調査法ⅡA	白川 優治
地方創生マネジメント	未定
製造業とサービス	渡邊 誠・他
地域医療	山口 智志
コミュニケーションデザイン	Paskevicius Algirdas
技術移転論	中原 秀登
地域環境論	高垣 美智子
環境変動と自然災害	吉田 修二
映像表現技術	田中 緑
日本の食文化	和田 健
ポピュラーカルチャー論	石井 正人
現代家族論	米村 千代
千葉学	見城 悌治
ビッグサイエンス	河合 秀幸
健康科学論	小泉 佳右
サイエンスカフェ	三野 弘文
環境とくらし	永瀬 彩子
サービスデザイン	渡邊 誠・他
イノベーションデザイン	渡邊 誠・他
被災地支援論	宮崎 美砂子
NGO・NPO論	佐々木 綾子
スポーツによる地域連携論	小泉 佳右
コンテンツ産業とデザイン	Paskevicius Algirdas
プロモーションデザイン	Paskevicius Algirdas
地域社会とスポーツ振興	谷藤 千香
千葉資源開発	和田 健
防災・減災社会構築論	未定
人口減の社会論	白川 優治
高齢化と医療	山口 智志
地域PBL型実習A	谷藤 千香
地域PBL型実習B	鈴木 雅之
地域PBL型実習C	福田 友子
持続的地域貢献活動実習A※	白川 優治・他
持続的地域貢献活動実習B※	白川 優治・他
フィールド・スタディB	未定

※隔年開講。2020年度はA:開講 B:非開講

文学部

授業科目	担当教員
人文科学の課題：地域を知るb1	久保 勇
人文科学の課題：地域を知るb2	久保 勇

理学部

授業科目	担当教員
地質学野外実験Ⅰ	伊藤 慎・他
地史古生物学実験Ⅰ	亀尾 浩司
地質学野外実験Ⅱ	金川 久一・他

工学部

授業科目	担当教員
都市地域デザイン	松浦 健治郎
建築の保全と再生	MORRIS MARTIN NORMAN・金手 ミル
都市環境デザイン	豊川 齋赫

園芸学部

授業科目	担当教員
インターンシップⅠ	園芸学科教員
インターンシップⅡ	園芸学科教員
インターンシップⅢ	園芸学科教員
インターンシップⅣ	園芸学科教員
インターンシップⅠ	応用生命化学科教員
インターンシップⅡ	応用生命化学科教員
インターンシップⅢ	応用生命化学科教員
インターンシップⅣ	応用生命化学科教員
インターンシップⅠ	三島 孔明・他
インターンシップⅡ	三島 孔明・他
インターンシップⅢ	三島 孔明・他
インターンシップⅣ	三島 孔明・他
インターンシップⅠ	矢野 佑樹
インターンシップⅡ	矢野 佑樹
インターンシップⅢ	矢野 佑樹
インターンシップⅣ	矢野 佑樹
地域看護学	宮崎 美砂子・他

医学部

授業科目	担当教員
衛生学	諏訪 園 靖
公衆衛生学	尾内 善広
医療情報経済学	鈴木 隆弘
地域医療実習(公衆衛生学実習)	尾内 善広

看護学部

授業科目	担当教員
訪問看護学概論	諏訪 さゆり・他
災害と地域看護活動	石丸 美奈・他
看護基本技術Ⅳ(地区活動)	石丸 美奈・他
老人看護学概論	正木 治恵・他
老人看護総合実習	正木 治恵・他
精神・地域看護活動展開実習	石丸 美奈・他
老人看護実践論	黒田 久美子
地域看護学概論	石丸 美奈・他
精神看護学概論	野崎 章子・他
地域看護方法	石丸 美奈・他
訪問看護実習	諏訪 さゆり・他
精神・地域看護コア実習	石丸 美奈・他
地域看護総合実習	石丸 美奈・他
精神看護総合実習	野崎 章子・他
社会資源と看護マネジメント	諏訪 さゆり・他
エンド・オブ・ライフケア看護実践論	石橋 みゆき・他
訪問看護総合実習	諏訪 さゆり・他

放送大学指定科目

千葉大学は、放送大学との間で「千葉大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書」を取り交わしています。この協定書及び同協定書の「覚書」に基づき、本学の指定した科目について、放送大学の「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、放送大学での成績によって普通教育科目等として評価されます。放送大学の講義は、自宅テレビ、WEBにて学ぶシステムです。

指定された科目においてローカル・イノベーション学の取得要件表に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。

履修希望者は、国際教養学部普通教育窓口(総合校舎1号館1階)にて手続きを行ってください。

履修期間	第1学期(前期):4月～9月 第2学期(後期):10月～翌年3月
特別聴講学生の出願についての掲示	第1学期(前期):前年度の1月頃 第2学期(後期):当該年度の7月頃
対象学生	第1学期(前期):2～4年次学生(受付時1～3年次) 第2学期(後期):1～3年次学生
授業料	11,000円/1科目

敬愛大学「エアポートNARITA地域産業学」

「エアポートNARITA地域産業学」は、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の一環として開講された敬愛大学の副専攻プログラムです。学生の主専攻である学部での専門性を持ちながら、観光・物流・サービス等に関する幅広い教養と知識・汎用的なスキルを備え、成田国際空港に関連するビジネスで活躍できる人材を育成します。千葉大学の学生も「副専攻聴講生」として、敬愛大学で開講される授業を聴講し所定の単位を取得することで、敬愛大学の発行する履修証明書を取得できます。

受講希望者は所定の「エアポートNARITA地域産業学」副専攻聴講生出願票に必要事項を記載して、千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスに提出してください。

申込期間	前期:2020年3月～4月上旬頃 後期:2020年7月頃
提出先	千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス(18ページ) 受付時間:平日9:00～15:00(12:00～13:00を除く)
履修の可否	一部の授業には人数制限があります。 副専攻ならびに授業の履修の可否は、コミュニティ・イノベーションオフィスから各自へ連絡します。
開講科目	コミュニティ・イノベーションオフィスで配布する出願票に添付します。
授業料	無料(但し、授業に必要な教科書・教材等は各自負担)
施設利用	聴講生は敬愛大学のメディアセンターなどが利用できます。
注意点	千葉大学との単位互換はありません。上記に記載されている放送大学指定科目の単位認定制度とは異なるので注意してください。 また、履修者数に上限があります(毎年度新規登録者数5名迄)。
問い合わせ	「エアポートNARITA地域産業学」の募集要項および出願票は、18ページに記載の千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスで配布します。また、18ページに記載の履修相談会にて質問を受け付けます。

▶ 2020年度対象の科目はガイダンスまたはWEBサイトで確認してください。

履修方法・学び方

■履修モデル 2020年度入学者対象

1 **【バランス型】** 地域や地域産業に関する科目をバランスよく学ぶ履修モデル

	地域と暮らし(必修)	ホリスティック地域学入門	地域づくりの基礎	地域に関する多様なテーマ	地域とイノベーション	地域イノベーションのためのスキル	PBL・実習型	専門教育科目	合計
修了証書	1	1	6	4	4	4	6	4	30
履修証明書	1	1	3	3	3	2	4	6	23

2 **【理論型】** 地域や地域産業に関する内容をより理論的・体系的に学ぶ履修モデル

	地域と暮らし(必修)	ホリスティック地域学入門	地域づくりの基礎	地域に関する多様なテーマ	地域とイノベーション	地域イノベーションのためのスキル	PBL・実習型	専門教育科目	合計
修了証書	1	1	8	4	4	4	4	4	30
履修証明書	1	1	6	3	3	3	2	4	23

3 **【体験型】** 地域や地域産業のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

	地域と暮らし(必修)	ホリスティック地域学入門	地域づくりの基礎	地域に関する多様なテーマ	地域とイノベーション	地域イノベーションのためのスキル	PBL・実習型	専門教育科目	合計
修了証書	1	1	2	6	4	4	8	4	30
履修証明書	1	1	2	4	4	3	6	2	23

4 **【他学部専門科目型】** 地域や地域産業に関する専門科目を多く学ぶ履修モデル

	地域と暮らし(必修)	ホリスティック地域学入門	地域づくりの基礎	地域に関する多様なテーマ	地域とイノベーション	地域イノベーションのためのスキル	PBL・実習型	専門教育科目	合計
修了証書	1	1	4	4	4	2	4	10	30
履修証明書	1	1	2	2	1	2	4	10	23

Q & A

Q1 履修開始方法を教えてください。特別な申込みが必要ですか。

A はい。事前登録が必要です。詳しくは5ページの履修方法をご覧ください。

Q2 履修登録は、どの学年からも可能ですか。

A はい。但し、指定科目により対象年次が決まっているものもあるので、シラバスで確認してください。なお、大学院生は履修登録の対象としていません。

Q3 現在、学部4年生です。1年間で取得要件を満たすことはできますか。

A 取得要件を満たす単位数を取得していれば可能です。

Q4 所属している学部の卒業要件に入らない単位であっても、ローカル・イノベーション学の単位として認めてくれますか。

A はい。指定科目であれば認めます。

Q5 修了証書/履修証明書はいつ授与されますか。

A 卒業時に授与されます。詳しくは5ページをご覧ください。但し、3年次終了時までに必要な単位数を取得していれば、取得見込証明書を発行します。

Q6 指定された期間に修了証書/履修証明書の取得申請・登録を忘れてしまいました。どうすればよいでしょうか。

A 原則として事前に申請・登録をしていない場合は、各種証書を発行できません。コミュニティ・イノベーションオフィスにお問合せください。

Q7 千葉大学Moodleにて履修登録しましたが、諸事情により履修を取り消したいと思っています。

A 各Moodleページから登録を外すことで可能です。

Q8 修了証書/履修証明書は要りませんが、ローカル・イノベーション学の指定科目を受講したいのですが、可能ですか。

A はい。但し、受け入れ制限がある科目もあるので、担当教員に確認してください。

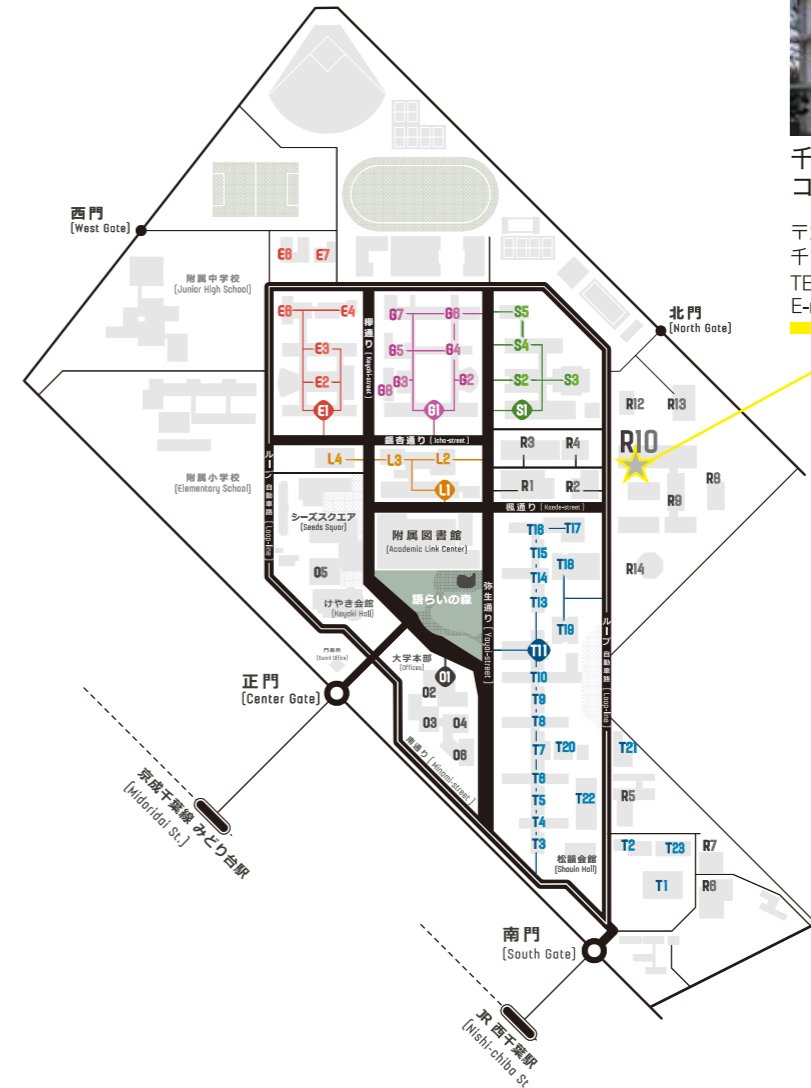
Q9 ローカル・イノベーション学の科目種別ごとの必要単位数を超えて、指定科目を受講できますか。

A はい。但し、科目種別ごとの必要単位数の上限を超えて単位認定はされません。

オフィス案内(アクセス)



千葉大学
コミュニティ・イノベーションオフィス
〒263-8522
千葉市稲毛区弥生町1-33 R10 学際研究棟1F
TEL : 043-290-2912
E-mail : coc-p@chiba-u.jp



もっと知りたい・分りたい人はガイダンスへ!

「ローカル・イノベーション学」

履修ガイダンス

日時：2020年4月8日 / 12:10~12:40
場所：アカデミック・リンク・センター

日時：2020年4月9・10日 / 12:10~12:40
場所：総合校舎 G5-42

「ローカル・イノベーション学」

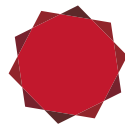
履修相談会 ※個別相談に乗ります

日時：2020年4月8~10日 / 13:00~17:00
場所：コミュニティ・イノベーションオフィス



<https://cocp.chiba-u.jp/>

詳しい日程と開催場所についてはWEBサイトで確認してください。



CHIBA
UNIVERSITY

全学副専攻プログラム
ローカル・イノベーション学 手引き 2020

発行

千葉大学 コミュニティ・イノベーションオフィス
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学 学際研究棟1階
TEL:043-290-2912 E-mail:coc-p@chiba-u.jp



<https://cocp.chiba-u.jp/>

<https://ja-jp.facebook.com/cocpluschiba/>

最新情報はWEBサイトで確認してください